

合格後、入学式までに準備したいこと

開倫塾

塾長 林 明夫

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。

先週センター試験が行われましたが、雪が降って試験らしいと感じました。試験がまだ終わっていない方には気の毒ですが、大学・専門学校・短期大学などに既に進学先が決まった方に、どのような準備をしたらよいかということをお話させていただきます。就職なさる方もいらっしゃいますが、進学なさる方の半数以上は、この時点で進学先が決まっています。そのくらい推薦入学が多いのが現状です。2009年には大学の定員と受験者の人数が同じになりますので、試験はもっともっと易しくなります。それが原因で、大学のレベル・学生のレベルがどんどん下がってしまいます。短大・大学・専門学校・専修学校などのことを高等教育機関と言いますが、そこで学ぶ学生のレベルがどんどん下がっていますので、今までの教え方では教育が全く成り立たなくなってきました。それが、高等教育機関の最大の悩みになっています。ですから、この放送をお聴きの皆様の中に、今春高等教育機関に進学する方とお知り合いの方がいらっしゃいましたら、次のことを伝えていただきたいと思います。高等教育機関での授業や研究にスムーズに取り組むためにも、高等学校で足りなかった勉強、あるいはやり残した勉強を、この1月・2月・3月の間に十分してから、上の学校に行っていただきたいということです。これは最初のお願いです。

2つめは、福田昭夫知事が言っている「分度推譲」立憲で、これも参考になります。分度の分は分かるという意味で、度は度合いです。つまり、度合いが分かるということです。何の度合いかという収入の度合いで、これが分かった上で支出をなささいということです。受験が終わった方をお願いしたいのは、できる限り自分の収入内で支出することを覚えて下さいということです。各々の家庭の事情によって仕送りなどの金額が決まっているわけですから、その範囲の中で生活する。それが足りない場合は、アルバイトなども必要です。お金はいくらあっても充足することはありませんから、自分の収入の範囲内で生活することが大事です。これが、福田知事の言う分度の意味です。これは、行政にも当てはまります。税金の収入(税収)の範囲内で支出をしてプライミーバランスをなるべく早くして赤字を解消する、それが福田昭夫知事の考えだと思います。

それも大事だと思いますが、私は、この春社会に巣立つ、親元から離れて学校生活をなさる子供たちに、収入の範囲内で支出をすることを今から心がけるよう、保護者の方が教えてあげていただきたいと思います。一番大事なことは、なるべく自炊をすることです。これまで全く食事を作ったことのない方もいらっしゃると思います。入学式まではあと3か月程ありますので、今からでも遅くありません。合格が決まった方は、保護者あるいは親戚の方など誰でもよいですから、簡単にできる食事の作り方を教わって下さい。3食とも外食というのはよくありません。おいしい食事ほど、毎日食べてもよい食材を使っていないことも多いからです。1週間に1回、1か月に1回くらい外食するのでしたらよいでしょうが、外食には、うまさを出すために塩や砂糖がたくさん入っていたり、油が多く使われていたり、

毎日そういうものを摂取していたら完全に体がおかしくなるものがたくさん使われています。ですから、毎日食べる食事の支度のしかたを、保護者の方が是非教えてあげて下さい。これが、家庭教育で最後にできることです。

また、1部屋もしくは2部屋で暮らすのですから、部屋の片づけができないとどんどん狭くなってしまいます。部屋の片づけ方も保護者の方が心がけて教えてあげて下さい。朝起きてから夜寝るまでの生活が全部自分でできるように、その基礎的なことを最後の家庭教育だと思って保護者の方に教えていただきたいと思います。それをしないと、なかなか生活ができません。

大学に入ると、お酒を飲む機会もあると思いますので、お酒の飲み方も少しは教えて下さい。そうでないと、急性アルコール中毒などになって、本当に大変な思いをすることがあります。実は私も、大学に入ってからコンパでお酒を飲み、大変な思いをしました。生まれて初めてお酒を飲んだら、3・4日気を失ってしまいました。そういうことにならないためにも、正しいお酒の飲み方を教えていただきたいと思います。このように準備が必要なことがいくつかありますから、合格したらすぐに始めて下さい。

最後に、毎日で恐縮ですが、皆様にお願いがあります。栃木県には素晴らしい観光地・温泉がたくさんあります。1月から3月にかけては温泉地にいらっしゃるお客さんが少なく非常に困っていますので、栃木県民の方は日帰りでもよいですから是非行って見て下さい。私も行かせて貰いますので、皆様もお友達などを誘って栃木県内の温泉に行き、十分英気を養っていただけようようお願い致します。200万人の県民の方に、1か月に1回行っていただければ、県内の温泉地が経済的に非常に回復します。県民運動として、栃木県の温泉に1か月に1回、特に1月、2月、3月は行こうということで御協力いただければと思います。是非よろしくお願い致します。